

F. 研究発表

1. 論文発表
なし
2. 学会発表
なし

G. 知的財産権の出願・登録状況

なし

H. 引用文献

- 1) 渡邊達夫、宮武光吉. 新しい歯科医療技術の予測に関するアンケート調査結果の報告. 平成 17 年厚生労働科学研究. In: 厚生労働科学研究費補助金 (医療技術評価総合研究事業) 新たな歯科医療需要等の予測に関する総合的研究. 平成 17 年度総合研究報告書 (主任研究者: 宮武光吉); 2006. 87-94 頁.
- 2) 歯科疾患実態調査報告解析検討委員会 (安藤雄一、南郷里奈、柳澤智仁、植野正之). 解説平成 17 年歯科疾患実態調査. 2007. 口腔保健協会
- 3) 深井稷博、神光一郎、藤家恵子、高柳篤志、瀧口徹. パノラマ X 線データを用いた歯科需要に関する研究. 平成 21 年厚生労働科学研究. In: 厚生労働科学研究費補助金 (地域医療基盤開発推進研究事業研究事業) 歯科疾患等の需要予測および患者等の需要に基づく適正な歯科医師数に関する研究 (H21-医療-一般-015、研究代表者: 安藤雄一); 2010. (印刷中)
- 4) 厚生労働省: 平成 16 年国民健康・栄養調査報告、厚生労働省健康局生活習慣病対策室、2006.
<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/eiyou06/01.html>
- 5) 安藤雄一、北村雅保. (附録) 歯科保健に関する情報 ~ 平成 16 年国民健康・栄養調査データによる解析 ~. 厚生労働科学研究費補助金 (医療安全・医療技術評価総合研究事業) 口腔保健と全身の QOL 関係に関する総合研究 (主任研究者: 花田信弘、H19-医療-一般-008); 2008. 253-267 頁.
- 6) 安田登. 「インプラント・バブル」を検証する 辛口対談 安田編集室 94. あぼろにあ 21. 2009 年 3 月号、114-120 頁.

インターネットリサーチによる歯科受診行動に関する仮想需要調査

研究代表者	安藤 雄一	(国立保健医療科学院 口腔保健部)
分担研究者	深井 稷博	(深井保健科学研究所)
研究協力者	石田 智洋	(東京医科歯科大学 歯科臨床研修センター)
	大山 篤	(東京医科歯科大学 歯科総合診療部)
	柳澤 智仁	(日本歯科総合研究機構)

研究要旨

歯科受診の必要性を感じていても、実際に受診する患者もいれば受診しない患者もいる。受診する／しないを分ける要因は、従来の統計調査からわかっているもの以外にも存在する可能性があり、統計調査の調査内容をより掘り下げて検討していく必要がある。

本調査では主に歯科受診の必要性を感じている患者の *felt need* に着目し、患者が実際に歯科受療行動を起こす *expressed need* へ移行するとき、あるいはこれが妨げられているときにどのような要因が関連しているのかを分析するため、口腔内の悩み事、歯科受診状況、歯科受診の必要性を感じたかどうか、歯科医院の選択理由や満足度、定期健診について、かかりつけ医の有無や通院状況、在宅介護における歯科、歯科医療に対する要望等に関してインターネットリサーチを行った。

調査結果から、治療の必要性を感じていながらも歯科を受診しない患者が3分の1以上存在し、定期的な歯科検診を除き、歯の痛み等、強い症状がない場合は治療の必要性を感じていても、なかなか受療行動を起こさない (*felt need* から *expressed need* への移行が起こらない) 患者が多いことが分かった。

受療行動を妨げている主な要因は利便性・時間・費用に係るものが多かった。特に利便性については通院にかかる時間や交通手段の影響は大きく、かかりつけ歯科や検診先の歯科診療施設の選択にも影響を与えていることが分かった。また、この1年間に歯科治療を行った患者の多くが受診した歯科診療施設の選択理由に「かかりつけ歯科であること」と「通院の利便性」を挙げていた。さらに、ほとんどの患者が受診先の歯科診療施設に説明を含め概ね満足しており、このことから診療内容よりも通院の利便性が受診率に影響を与えている可能性があると考えられた。

A. 研究目的

従来行われてきた歯科医療の需給分析では、供給面での検討が主であり、需要面に対する調査および分析は不十分であった。歯科需要について考えたとき、例えば歯科受診の必要性を感じていても、実際に受診する患者もいれば受診しない患者もいる。受診する／しないを分ける要因は、従来の統計調査などの分析からわかっているもの以外

にも存在する可能性があり、統計調査の分析内容をより掘り下げて検討していく必要がある。

本調査では主に歯科受診の必要性を感じている患者の *felt need*¹⁾ に着目し、患者が実際に歯科受療行動を起こす *expressed need* へ移行するとき、あるいはこれが妨げられているときにどのような要因が関連しているのかをインターネットリサーチの記述統計により分析することを目的とした。

B. 研究方法

従来の統計調査の分析からは十分に分かっていない、歯科受診に関する患者側の様々な要因を抽出するため、歯科受療行動に関するインターネットリサーチを行った。調査期間は平成 22 年 2 月 12～15 日であった。

1) 調査対象

調査対象はインターネットリサーチを専門に行っている、(株)マクロミル社に登録されているモニターであった。本研究では、調査対象者の年齢、性別の影響を少なくするため、男女別に「20代」、「30代」、「40代」、「50代」および「60歳以上」の5つの年代のカテゴリを作成し、各カテゴリ 73 名ずつ、計 730 名を調査対象とした。調査対象者の属性を資料 1 に示す。なお、本調査への協力依頼メールの配信数は 2364 通であり、回答率は 30.9%であった。年代別には男性の回答率は 20 代 18.4%、30 代 27.2%、40 代 37.2%、50 代 49.7%、60 歳以上 54.9%であり、女性の回答率は 20 代 20.3%、30 代 24.3%、40 代 35.8%、50 代 36.3%、60 歳以上 45.9%であった。

2) 質問項目

調査内容は大きく分けて、1. 口腔内の悩み事、2. 歯科受診状況、3. 歯科受診の必要性を感じたかどうか、4. 歯科医院の選択理由や満足度、5. 治療終了後の定期健診について、6. 治療の中断や転医について、7. ふだん口腔健康について自分で注意していること、8. かかりつけ医の有無や通院状況、9. 在宅介護の歯科に対する要望、10. 歯科医療全般に対する要望 に関する 10 項目で、詳細を聞く質問をあわせて合計 20 項目であった。なお、質問項目の作成にあたっては、平成 11 年に行われた保健福祉動向調査の調査票を参考とした。これらの質問項目から得られたデータ集計し、記述統計により分析した。実際に使用した質問票を資料 2 に示す。

自由回答の質問に関して、質問 8、質問 12 で

は SPSS Text Analysis for Survey 3.0 を用いて、回答者が意識して用いていたと思われるキーワードを抽出した。同様な意味で用いられているキーワードが複数存在した場合には、1つのキーワードに集約し、10 回以上の頻度で使用されていたキーワードの度数をグラフにまとめた。

また、質問 1 では各悩み事に関する自由回答をカテゴリごとに分類し、どのような種類の意見が挙げられているのかを詳しく分析した。さらに、質問 20 についても、各要望に関する自由回答をカテゴリごとに分類し、各要望中でどのような意見が多く挙げられているのか詳しく分析した。

C. 研究結果

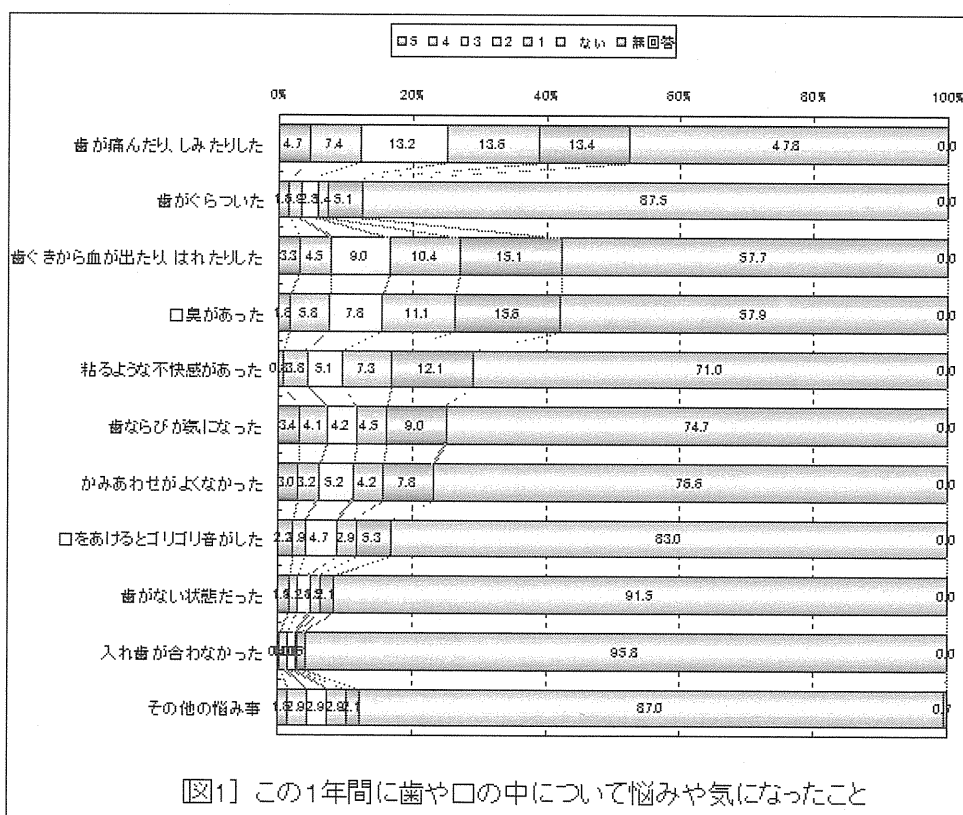
得られた調査結果を、質問項目ごとに示す。

質問 1 は、この 1 年間に生じた歯や口の中について悩みや気になることについての質問である。最も多かった回答は「歯が痛んだり、しみたりした」であった。それぞれの症状の強さを示す 5 段階評価では、「歯が痛んだり、しみたりした」については強さ「2」が、「歯がぐらついた」、「歯ぐきから血が出たり、はれたりした」、「口臭があった」、「粘るような不快感があった」、「歯ならびが気になった」、「かみあわせがよくなかった」、「口をあけるとゴリゴリ音がした」、「歯がない状態だった」については強さ「1」が、「入れ歯が合わなかった」については強さ「3」が最も多く回答されていた(図 1)。

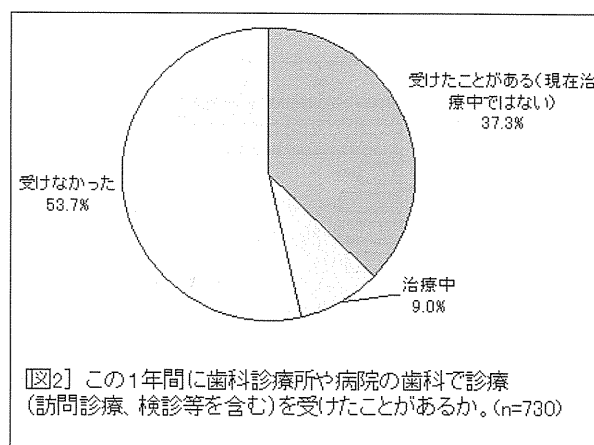
また、自由回答の内容を分類すると、悩み事として「歯が痛んだり、しみたりした」「歯がぐらついた」「歯ぐきから血が出たり、はれたりした」「口臭があった」「粘るような不快感があった」「口をあけるとゴリゴリ音がした」を選んだ場合には、それぞれ「自覚症状」「原因」「不具合の出た状況」「頻度」「日常生活への影響」「対処行動」の6つのカテゴリに大別できた。「かみあわせがよくなか

った」を選んだ場合には、「自覚症状」「原因」「不具合の出た状況」「日常生活への影響」「対処行動」の5つのカテゴリに大別できた。「歯ならびが気になった」を選んだ場合には、「自覚症状」「不具合の出た状況」「日常生活への影響」「対処行動」の4つカテゴリに、「歯がない状態だった」を選んだ場合には、「自覚症状」「原因」「日常生活への影響」「対処行動」の4つのカテゴリに大別できた。「入れ歯が合わなかった」を選んだ場合には、「自覚症

状」「原因」「対処行動」の3つのカテゴリに大別できた。以上のように、それぞれの悩み事について自由回答をカテゴリ分類し、カテゴリ内の回答と共に表にしてまとめたものを資料3に示す。また、「その他の悩み事」では自由回答の内容が多岐に渡り、カテゴリ分類は困難であった。特に多い回答としては、「歯間への食渣圧入」「歯の着色」「歯石・歯垢の付着」「補綴物の脱離や不具合」「う蝕」「智歯」に関する事柄が挙げられた。

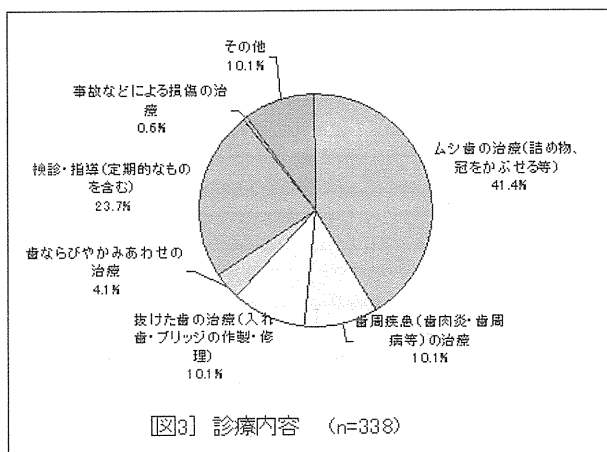


質問2は、この1年間に歯科診療所や病院の歯科で診療（訪問診療、検診等を含む）を受けたことがあるかについての質問である。「診療を受けなかった」と回答した者は53.7%と最も多く、「診療を受けたことがある」と回答した者は37.3%、「治療中」と回答した者は9.0%であり、この1年間で診療を受けなかった患者と、受けたあるいは治療中の患者はおよそ半数ずつであることが分かった（図2）。

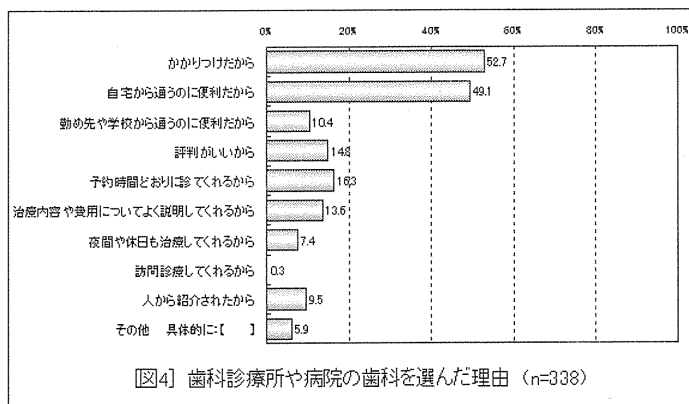


質問 3 は、受診した歯科診療所（病院の歯科）の郵便番号についてである。基本属性データと照らし合わせた結果、自宅の郵便番号と完全に一致するものは 42.3%であった。また、受診した歯科診療所（病院の歯科）と自宅の市区町村が一致するものは 82.9%と非常に多く、このことから調査対象者の自宅近辺に受診先の歯科が多いことが分かった。

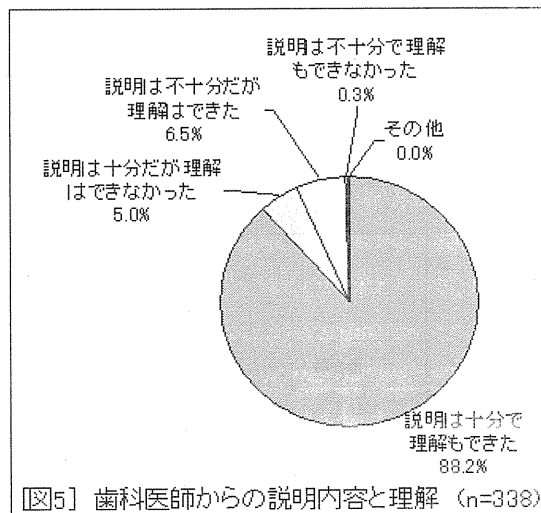
質問 4 は、受診した歯科での主な診療内容についての質問である。「う蝕処置」と回答した者が最も多く 41.4%、次いで「検診・指導」は 23.7%、「歯周疾患の治療」「欠損歯補綴」と回答した者はともに 10.1% であった（図 3）。



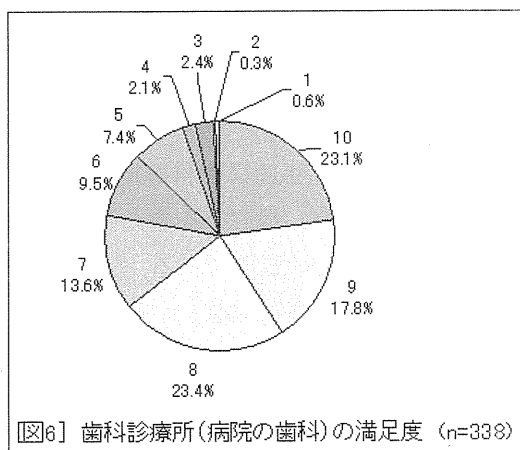
質問 5 は、どのような理由でその歯科診療所（病院の歯科）を選んだかについての質問である。選択理由としては「かかりつけだから」と回答した者は 52.7%と最も多く、「自宅から通うのに便利だから」と回答した者は 49.1%であり、選択理由としては約半数の者がこの 2つの選択肢を選んでいた（図 4）。



質問 6 は、歯科医師からの説明が十分だったかと、内容が理解できたかについての質問である。「説明は十分で理解もできた」と回答した者が 88.2%と圧倒的に多かった（図 5）。



質問 7 は、10段階評価による、その歯科診療所（病院の歯科）に対する満足度についての質問である。満足度「8」と回答した者が 23.4%と最も多く、満足度「10」と回答した者は 23.1%、満足度「9」と回答した者は 17.8%であり、満足度が高い評価に集中した。満足度「4」以下の低い評価は非常に少なく、満足度「5」以上は合計すると 94.8%と、評価のほとんどを占めた（図 6）。



質問 8 は、満足度の評価理由についての質問である。評価理由の自由回答をグループ化したとこ

ろ、治療の質や説明の丁寧さに関する内容のものが非常に多かった。また、質問7の評価値と対応させて分析すると、評価の高い意見には「治療と説明が丁寧」、「希望どおりの治療をする」、「対応が早い」、「治療の痛みが少ない」などが多く見られた。これに対して評価の低い意見には「説明がない」、「希望どおりの治療をしない」、「時間がかかる」などが多く見られた。また、テキスト分析の結果からは、治療や診察に関するキーワードで

ある「治療」、説明のわかりやすさや丁寧さに関する「説明」、丁寧な対応や治療を示す「丁寧」などの使用頻度が高いことがわかった。以下、「歯科医師」、「満足」、「治療時間」、「痛み」などが上位に挙げられた。歯科診療所（病院の歯科）に対する満足度の評価理由として10回以上の頻度で使われたキーワードとその度数を図7に、また、それぞれのキーワードが使用された代表的なコメントを表1に示す。

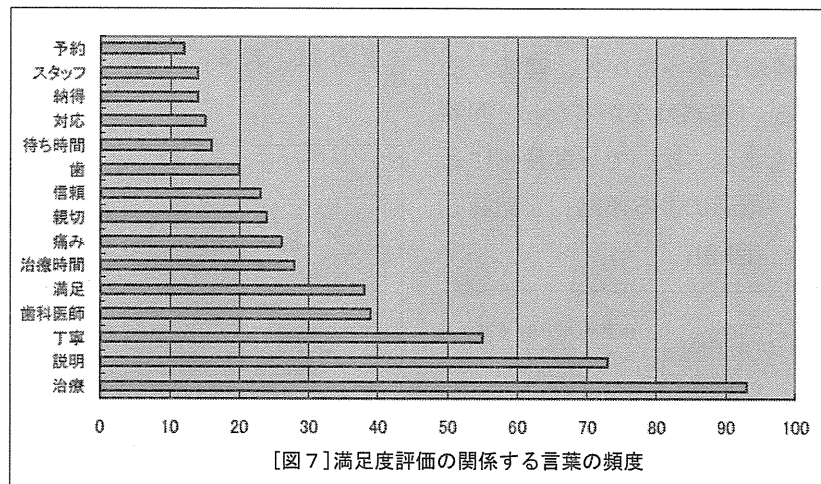
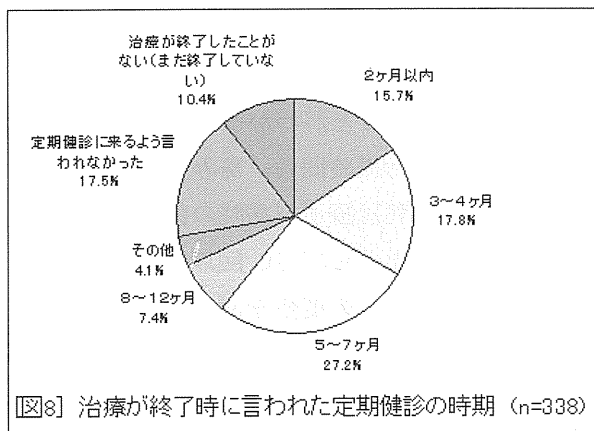


表1 歯科診療所（病院の歯科）に対する満足度の評価理由とキーワード

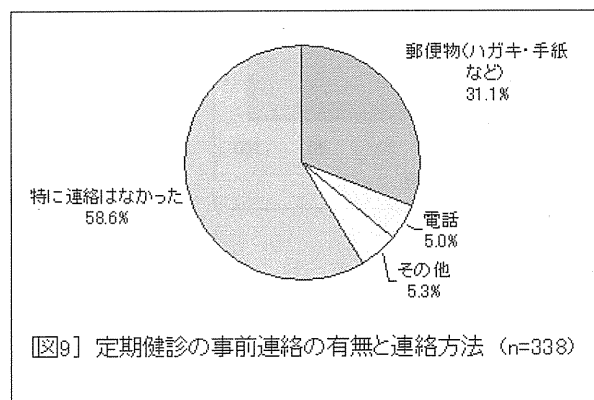
治療	丁寧な治療をしてもらっている、きちんと治療の説明をしてくれた、治療が早い、予約どおりに診察がうけられる、治療に不安を感じた
説明	説明を丁寧にしてくれる、わかりやすい説明と確実な技術、説明が丁寧で納得できた
丁寧	先生や助手さんも丁寧でよかった、丁寧に対応してくれた、丁寧な治療と説明
歯科医師	信頼している先生、先生が優しくかった、医師の手際がよく速やかに治療が終了した
満足	治療もとても丁寧なので満足している、普通に満足した、自分の要求事項は満たした
治療時間	時間がかかりすぎる分マイナス、処置が早い
痛み	痛みの無いように治療してくれた、痛くないし処置が早かった
親切	先生も親切で診療所にも清潔感がある、歯の状態をきちんと説明してくれて親切
信頼	処置も適正で信頼できる、先生が話しかけやすく安心できる
歯	治療した歯が食事中に取れた、歯の状態の説明もよく分かった、歯の掃除をしてくれる、違和感のある歯の治療中
待ち時間	待ち時間が少なかった、込んでいて待ち時間が長い
対応	対応や設備がよかった、丁寧な対応
納得	納得のいく説明をしてくれる、評判がいいことが納得出来た
スタッフ	先生はじめスタッフが感じがいい、先生や衛生士さんは優しくて丁寧
予約	予約がとりやすい、予約が取りづらい、混んでいて予約が先になってしまう

質問9は、必要な治療がすべて終了したときに、次の定期健診にいつごろ来るよう言われたかについての質問である。「5～7ヶ月後」と回答した者が27.2%と最も多く、次いで「3～4ヶ月後」が

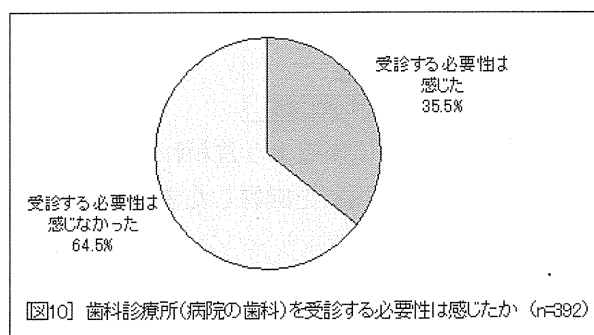
17.8%、「定期健診に来るよう言われなかった」が17.5%、「2ヶ月以内」と回答した者は15.7%であった（図8）。



質問 10 は、定期健診の時期に歯科診療所（病院の歯科）から、事前連絡はあったかと、連絡方法についての質問である。「連絡はなかった」と回答した者が 58.6%と最も多く、次いで「郵便物による連絡」が 31.1%、「電話による連絡」と回答した者は 5.0%であった（図 9）。



質問 11 は、この 1 年間に治療を受けたことがないと回答した者に対しての、歯科診療所（病院の歯科）を受診する必要性は感じたかについての質問である。「受診する必要性は感じなかった」と回答した者は 64.5%であり、これに対し「受診する必要は感じた」と回答した者は 35.5%であった（図 10）。



質問 12 は、この 1 年間に治療を受けたことがないと回答した者に対しての、受診しなかった理由についての質問である。テキスト分析の結果からは、時間的な問題や暇がなかったという「時間」、歯科医院への通院が面倒だったり嫌だったりという「行く・通う」、受診するような問題や不都合を感じていないという「問題・不都合」などの使用頻度が高いことがわかった。以下、「歯科・歯科医院」、「痛み」、「必要性」、「経済的問題」などが上位に挙げられた。キーワードに含まれる内容の例を図 11、表 2 に示す。

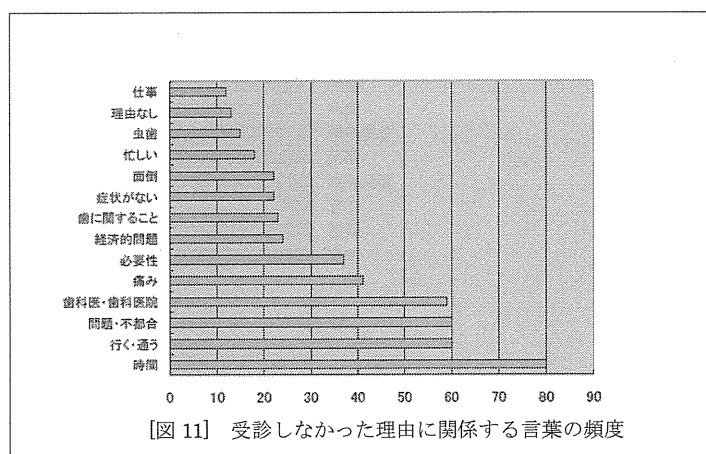


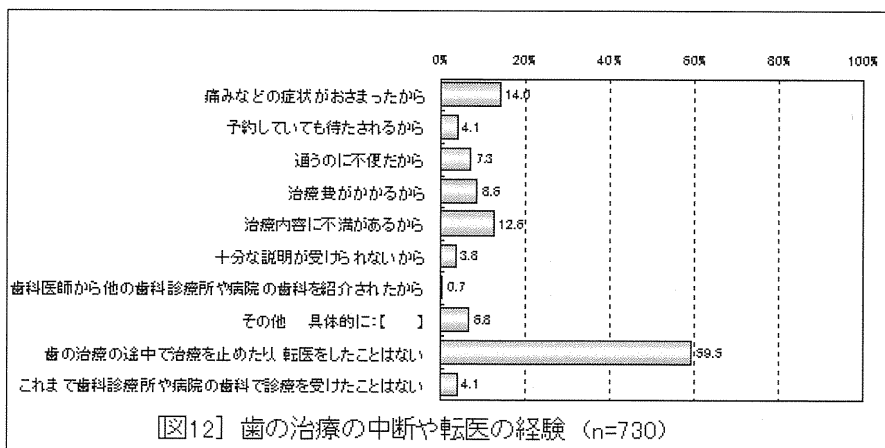
表 2 この 1 年間に治療を受けたことがない理由とキーワード

時間	時間もお金もない、時間的な問題で行けなかった、忙しくて行く暇がない
行く・通う	歯科に行くのが嫌い、何回も通うのが面倒、通院がめんどくさい、行くほどの不具合はなかった
問題・不都合	特に不都合を感じなかった、受診するような問題がなかった、生活に支障がない、経済的な問題
歯科医・歯科医院	歯科にかかるほどのことがなかった、歯医者の音がいや、良い歯科医が近所にいない、歯科医院の臭いと音が嫌い
痛み	痛そうだから、特に痛むところもなかった
必要性	特に必要性を感じなかった、受ける必要がないと思った
経済的問題	経済的な問題、時間と金がない
歯に関すること	特に歯の痛みがなかった、歯に問題がないので
症状がない	受診するほどの症状がなかった、日常生活に支障をきたすような症状がない
面倒	面倒くさい、予約等が面倒、何回も通うのが面倒
忙しい	仕事が忙しかった、忙しい
虫歯	虫歯や痛むところはなかった、虫歯になったことがない
理由なし	特になし、理由はない
仕事	仕事の都合上、仕事のスケジュールが合わない、仕事で忙しかったため

質問 13 は、歯の治療の途中で治療を止めたり、転医をしたことがあるか、また、あればその理由についての質問である。「治療途中で止めたり、転医をしたことはない」と回答した者が 59.5%と最も多かった。転医した理由としては「痛みなどの

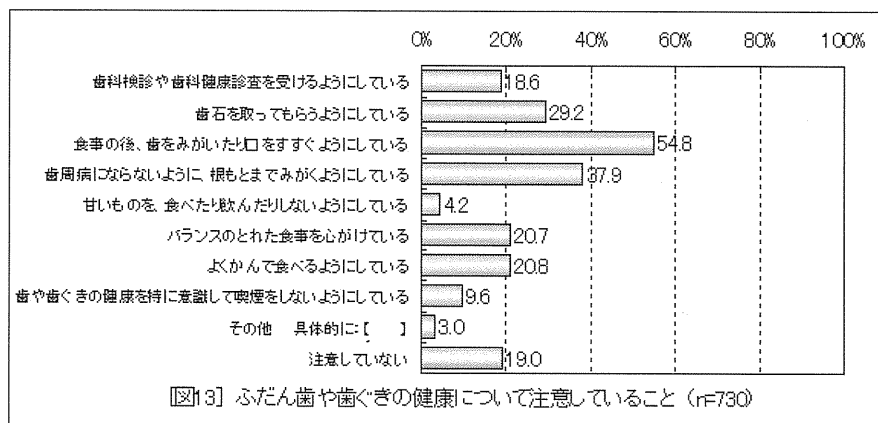
症状がおさまったから」と回答した者が14.0%と最も多く、「治療内容の不満」と回答した者が次に

多く、12.6%だった(図12)。



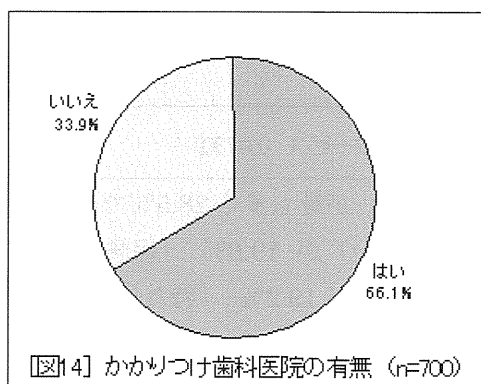
質問14は、ふだん歯や歯ぐきの健康について注意していることについての質問である。「食後の歯みがき・うがい」と回答した者が54.8%と最も多く、「歯周病予防を意識した歯磨き」と回答した者が37.9%で、ブラッシングに関するものが多か

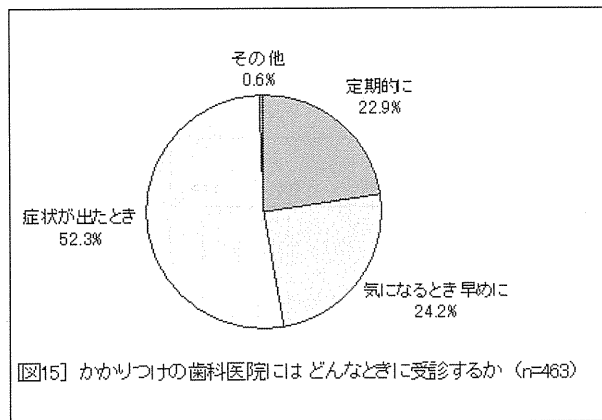
った。次いで「歯科での歯石除去」が29.2%、「よくかんで食べるようにしている」が20.8%、「バランスのとれた食事を心がけている」が20.7%、「歯科検診や歯科健康診査を受ける」と回答した者は18.6%であった(図13)。



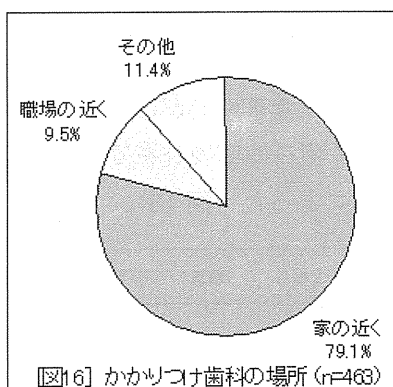
質問15は、かかりつけの歯科医院の有無についての質問である。「かかりつけ歯科を持っている」と回答した者は66.1%と非常に多かった(図14)。

質問16は、そのかかりつけの歯科医院について、どんなときに受診するかについての質問である。「症状が出たとき」と回答した者が52.3%と最も多く、次いで「気になるとき早めに」が24.2%、「定期的に」と回答した者は22.9%であった(図15)。



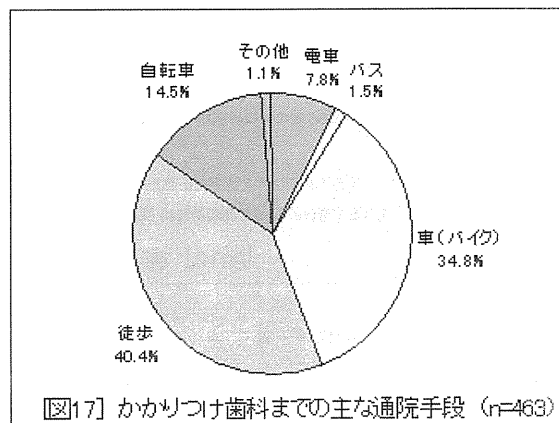


質問 17 は、そのかかりつけ歯科の場所についての質問である。「家の近く」が 79.1% と圧倒的に多く、「職場の近く」は 9.5% 「その他」は 11.4% であった (図 16)。

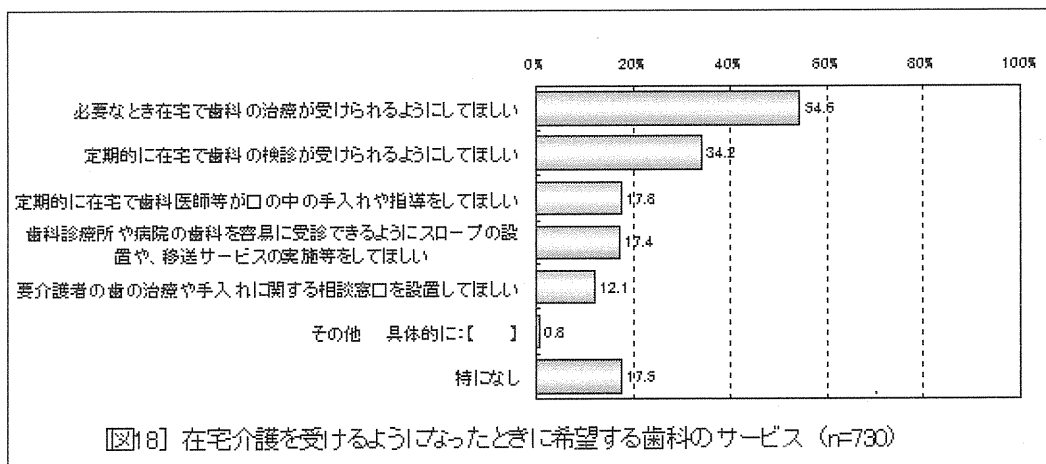


質問 18 は、そのかかりつけ歯科までの主な通院手段と通院時間についての質問である。「徒歩」と回答した者が 40.4% と最も多く、次いで「車 (バ

イク)」が 34.8%、「自転車」が 14.5%、「電車」と回答した者は 7.8% であった。通院の平均時間は「電車」が 28.4±15.3 分、「バス」が 21.1±14.1 分、「車 (バイク)」が 15.0±25.2 分、「徒歩」が 7.0±4.4 分、「自転車」が 12.0±26.4 分であった (図 17)。



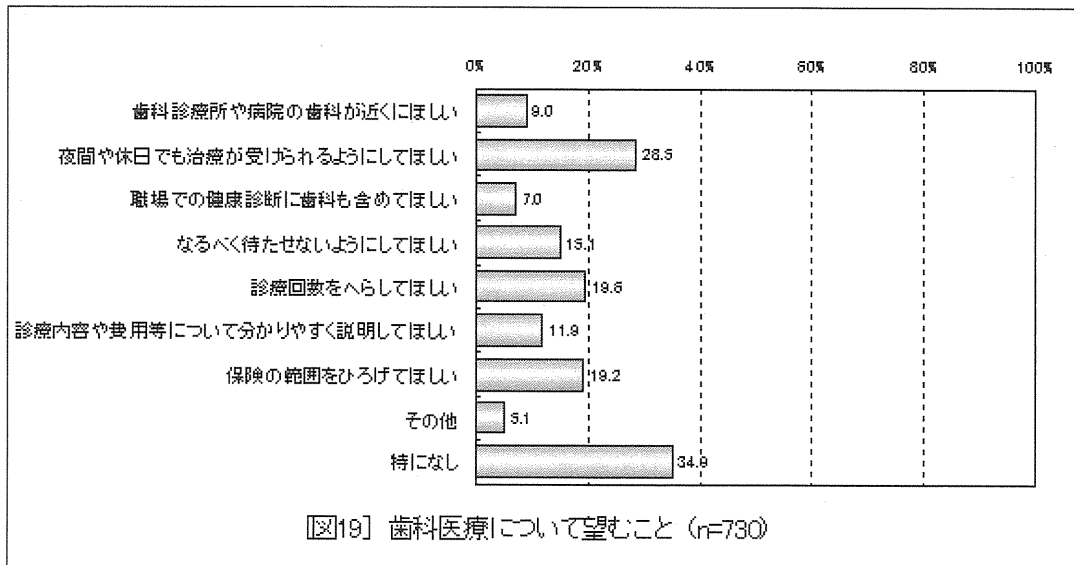
質問 19 は、自分が寝たきり等の状態で在宅介護を受けるようになったとしたら、どのような歯科のサービスを望むかについての質問である。「必要なときに在宅で歯科治療を受けられるようにしたい」と回答した者が 54.5% と最も多く、次いで「定期的な検診」34.2% や「定期的なメンテナンスや指導」17.8% と、定期的な歯科医によるチェックの希望が多かった (図 18)。



質問 20 は、歯科医療についてどのようなことを望むかについての質問である。「特になし」と回答した者が 34.9% と最も多く、要望の中では「夜間・

休日診療希望」が最も多く 28.5% で「診療回数をへらしてほしい」が 19.6% 「保険治療の範囲を広げてほしい」が 19.2% 「待たせないでほしい」

が15.1%であった（図19）。



また、それぞれの要望について記載された自由回答を内容ごとに分類したところ、「歯科診療所や病院の歯科が近くにほしい」という要望の中の意見では「歩いて行ける範囲が望ましい」が最も多く、次いで「家の近くが望ましい」という意見が多かった。「夜間や休日でも治療が受けられるようにしてほしい」という要望の中の意見では「夜遅くまで診療してほしい」が多く、具体的な時間としては夜10時までの診療が希望されていた。次いで「土日休日も診療してほしい」という意見と、夜間や休日診療を望む理由として「痛み」を挙げる意見が見られた。「職場での健康診断に歯科も含めてほしい」という要望の中の意見では「歯科の健康診断も職場で定期的に受けてほしい」という意見が多かった。「なるべく待たせないようにしてほしい」という要望の中の意見では「予約をしているにも関わらず待たされる」という意見が特に多く見られ、割合としてはこの要望における自由回答の半数以上を占めた。「診療回数をへらしてほしい」という要望の中の意見では「一回の診療時間を長くして回数を減らしてほしい」という意

見が多く、その他には「一回の診療で終わらせてほしい」「治療回数が多すぎる」「何度も通うのが大変」という意見が見られた。「診療内容や費用等について分かりやすく説明してほしい」という要望の中の意見では「あらかじめどのくらいの治療費がかかるのかを知りたい」という意見が多く、次いで「かかった治療費の内訳を説明してほしい」という意見や「治療費が高額」という意見が多かった。「治療内容の説明をしてほしい」という意見は費用に関する意見群の次に多かった。「保険の範囲をひろげてほしい」という要望の中の意見では「インプラント治療を保険適用にしてほしい」という意見が最も多く、次いで「陶材焼付冠を保険適用にしてほしい」「歯科矯正を保険適用にしてほしい」という意見が多かった。「その他」の要望の中の意見は多岐に渡るため上記のような内容の分類は困難であると思われる。代表的な意見としては「予約を取りやすくしてほしい」「治療の機械音をなくしてほしい」「治療費が高い」等が挙げられた。

D. 考察

本研究はインターネットリサーチと呼ばれる手法を用いて行われた。これはインターネットを介して行われるアンケート調査法であり、様々な年齢・性別・職種・居住地域の、多数のモニタに対し比較的短期間に調査を行うことができるとして、近年一般的に利用されている手法である²⁾。この1年間に生じた歯や口の中の悩みや気になることについて、本研究結果と平成11年保健福祉動向調査の結果を比較してみたところ、両調査とも「歯が痛んだりしみたりした」、「歯ぐきから血が出たり、はれたりした」、「口臭があった」などの頻度が高く、歯や口の中の悩みや気になることは類似していた。この結果からは国民の歯や口の中の悩みや気になることの頻度はある程度、決まっているようにも考えられるが、本調査では症状の強さに関して5段階の数値を選択する方式をとっており、単純に平成11年保健福祉動向調査の結果と比較するのは難しい。この1年間に生じた歯や口の中の悩みや気になることがなかった調査対象者は、平成11年保健福祉動向調査の結果で28.8%なのに対して本調査では19.6%と10%程度低かった。平成11年保健福祉動向調査においては、調査対象者の症状が弱い場合には、歯や口の中の悩みや気になることとして認識されていない可能性もある。

また、本調査では、この1年間に生じた「悩みや気になったこと」それぞれに、日常生活で実際に困ったこと等を自由回答する欄を設けたが、日常生活への影響だけでなく、「自覚症状」「原因」「不具合の出た状況」「頻度」「対処行動」と、最大で6つのカテゴリに分けることができた。内容については、「悩みや気になったこと」全般として、日常生活への影響よりも痛みや腫れ、出血、歯牙の動揺、食渣の圧入など、症状そのものがクローズアップされる傾向があった。日常生活への影響としては、「歯が痛んだり、しみたりした」「歯がぐらついた」「歯ぐきから血が出たり、はれたりした」「歯ならびが気になった」「かみあわせがよく

なかった」「口をあけるとゴリゴリ音がした」「入れ歯が合わなかった」「歯がない状態だった」と、多くの悩み事の中で『食事の際の不具合』が共通の内容として挙げられ、口腔内の悩み事においては食事に関する内容が大きなウェイトを占めていることが考えられた。また、他に注目すべき点として、「歯が痛んだり、しみたりした」と「歯ぐきから血が出たり、はれたりした」の2つでは特に、『仕事等における集中力の低下』が悩み事として共通して挙げられていた。また、「口臭があった」場合では自覚症状だけでなく他人に指摘されて気がついたとする他覚症状についての回答が特徴的であった。

つぎに、この1年間に歯科診療所や病院の歯科で診療を「受けなかった」調査対象者と、「受けたあるいは治療中」の調査対象者はおよそ半数ずつであった。これらの結果を見ると、多少なりとも歯や口の中の悩みや気になることがある調査対象者は多いものの、定期的な歯科検診を除き、強い歯の痛みや腫れで飲食に不都合がある、夜眠れない、あるいは集中力が低下するなどの日常生活に支障をきたすことがなければ、治療の必要性を感じていても、実際には受療行動を起こさない (felt need から expressed need への移行が起こらない) 患者が多いことが考えられた。ただし、平成11年度保健福祉動向調査の結果では診療を「受けたことがある」者は35.1%にすぎないことから、本調査の方が受療行動を起こす調査対象者が多かった。これについては対象者の違いが影響したのか、それとも口腔の健康が国民により意識されるようになっているのかなど、他の調査データなどを含めて慎重に検討する必要があると考えられる。

ふだん歯や歯ぐきの健康について注意していることについて本調査では「食後の歯みがき・うがい」と回答した者が54.8%と最も多く、「歯周病予防を意識した歯磨き」と回答した者が37.9%で、ブラッシングに関するものが多かった。次いで「歯科での歯石除去」が29.2%、「よくかんで食べる

ようにしている」が 20.8%、「バランスのとれた食事を心がけている」が 20.7%、「歯科検診や歯科健康診査を受ける」と回答した者は 18.6%であった。平成 11 年保健福祉動向調査では「食事の後、歯をみがいたり口をすすぐようにしている」48.8%が最も多く、次いで「歯槽膿漏にならないように、根もとまでみがくようにしている」27.9%、「バランスのとれた食事をこころがけている」23.2%となっており、患者のセルフケアに関する考え方は、両調査ともに似たような傾向にあると考えられた。

この 1 年間に歯科診療所や病院の歯科で診療を受けた調査対象者 (felt need から expressed need への移行が起こった調査対象者) の多くは、受診した歯科診療施設の選択理由に「通院の利便性」と「かかりつけ歯科であること」を挙げていた。自宅と受診した歯科診療施設の郵便番号が 7 ケタとも完全に一致するものは 42.3%、自宅と受診した歯科診療施設の市区町村の一致するものは 82.9%であり、さらに徒歩で通院している調査対象者が 4 割にも及んでいた。これらの結果から、歯科医院を選択するときには、自宅に近くて通院しやすい歯科医院が選択される傾向にあり、かかりつけ歯科や検診先の歯科診療施設の選択にも影響を与えていることと考えられた。

これらの調査対象者が受診した歯科診療施設に対する満足度調査では、ほとんどの患者が受診先の歯科診療施設に概ね満足していた。満足度に関する自由回答のテキスト分析の結果からは、治療や説明を丁寧に行ってくれて、歯科医師が親切な歯科医院の満足度が高いと考えられた。また、治療時間や待ち時間が少ないなどの時間にかかわる要因や、痛みの有無なども満足度に影響を与えているキーワードであることが理解できた。歯の治療の途中で治療を止めたり、転医をした理由を見てもこれらの満足度に影響する要因が満たされないと、歯の治療の途中で治療を止めたり、転医をするという行動につながる事が予測された。治

療終了後の定期健診については、治療終了者の約 2/3 が定期健診をすすめられているが、郵便物や電話で定期健診の事前連絡があったのは治療終了者の 1/3 強であった。定期健診を勧めている歯科医院でも、事前連絡を行うのはその約半数に過ぎないことがわかった。事前連絡をする歯科医院、しない歯科医院については、歯科医師を対象とした調査でさらに検討したいと考えている。

この 1 年間で歯科を受診していない調査対象者 (felt need から expressed need への移行が起きなかった調査対象者) については、受診の必要性がないと考えていた調査対象者が約 65%であり、受診しなかった理由に関する自由回答のテキスト分析の結果からは、受診するような問題や不都合はないと考えている者が多く、通院や治療にかかる時間や経済的な理由から受診しないという判断をしていると考えられた。

かかりつけの歯科医院については、およそ 3 分の 2 の調査対象者がかかりつけを持っていると回答しており、通院する歯科医院はある程度決まっているようであった。実際にこの 1 年間での歯科受診の有無を問う質問 9 と、かかりつけ歯科の有無を問う質問 15 に関し、マクロミル社製集計ソフト Quick-CROSS3 を用いてクロス集計を行ったところ、かかりつけを持つ対象者の歯科受診率が圧倒的に多いことが分かった (表 3)。また、日常的に口腔内の健康について気をつけていることがあるかを問う質問 14 と、かかりつけ歯科の有無を問う質問 15 のクロス統計を行ったところ、かかりつけがある対象者群の方がすべての項目において、かかりつけのない対象者群よりも割合が多かった。

特に、歯科検診や歯科健康診断、歯石の除去などのプロフェッショナルケアを行っているという回答した者のうち、9 割がかかりつけを持つ対象者であり (表 4)、かかりつけ歯科をもつ患者の口腔保健に対する意識の高さをうかがわせた。

調査対象者が歯科医院に対して望んでいる内容については、平成 11 年度保健福祉動向調査との比

較が可能である。本調査では「特になし」と回答した者が34.9%と最も多く、要望の中では「夜間・休日診療希望」が最も多く28.5%で「診療回数をへらしてほしい」が19.6%「保険治療の範囲を広げてほしい」が19.2%「待たせないでほしい」が15.1%であった。それに対し、平成11年度保健福祉動向調査では「夜間や休日でも治療が受けられるようにしてほしい」が40.9%と最も多く、次いで「保険の範囲をひろげてほしい」35.8%「なるべく待たせないようにしてほしい」22.5%、「診療回数を減らしてほしい」22.5%となっており、「特になし」21.7%より多い結果であった。近年は歯科医院の数が増えていることがマスコミなどで報道されているが、歯科医院が夜間や休日に診療を行うなど、診療時間を延ばしていることが影響している可能性も考えられる。

自分が寝たきり等の状態で在宅介護を受けるようになったとしたら、どのような歯科のサービスを望むかについては、本調査では「必要なときに在宅で歯科治療を受けられるようにしたい」と回答した者が54.5%と最も多く、次いで「定期的な

検診」34.2%や「定期的なメンテナンスや指導」17.8%と、定期的な歯科医によるチェックの希望が多かった。平成11年度保健福祉動向調査では、「必要なとき在宅で治療が受けられるようにしてほしい」が63.3%、「定期的に在宅で歯科の検診が受けられるようにしてほしい」が26.6%となっており、同じような傾向を示していた。在宅の歯科サービスの充実が望まれる結果であると考えられた。

表3 歯科受診歴とかかりつけ歯科の関係性

		Q15 かかりつけの歯科医院はありますか。			
		はい		いいえ	
		人数	(%)	人数	(%)
Q2 あなたは、この1年間に歯科診療所や病院の歯科で診療（訪問診療、検診等を含む）を受けましたことがありますか。	受けたことがある	227	(86.3)	36	(13.7)
	治療中	64	(97.0)	2	(3.0)
	受けなかった	172	(46.4)	199	(53.6)

表4 日常的な口腔の健康管理意識とかかりつけ歯科の関係性

		Q15 かかりつけの歯科医院はありますか。当てはまるものにチェックを入れてください。			
		はい		いいえ	
		人数	(%)	人数	(%)
全体		463	(66.1)	237	(33.9)
Q14 あなたは、ふだん歯や歯ぐきの健康についてどのようなことに注意していますか。(いくつでも)	歯科検診や歯科健康診査を受けるようにしている	125	(93.3)	9	(6.7)
	歯石を取ってもらっている	187	(89.9)	21	(10.1)
	食事の後、歯をみがいたり口をすすぐようにしている	269	(69.9)	116	(30.1)
	歯周病にならないように、根もとまでみがくようにしている	193	(71.7)	76	(28.3)
	甘いものを、食べたり飲んだりしないようにしている	18	(60.0)	12	(40.0)
	バランスのとれた食事を心がけている	102	(71.8)	40	(28.2)
	よくかんで食べるようにしている	93	(65.0)	50	(35.0)
	歯や歯ぐきの健康を特に意識して喫煙をしないようにしている	48	(70.6)	20	(29.4)
	その他 具体的に：	15	(68.2)	7	(31.8)
	注意していない	68	(51.9)	63	(48.1)

E. 結論

治療の必要性を感じながら実際には歯科を受診しない、つまり felt need から expressed need への移行が起こらない患者は、潜在的に相当数存在することが示唆された。受診しない理由としては「日常生活に支障をきたすほどの症状ではないため」「忙しい」「通院が煩わしい」「受診できる時間帯に診療している歯科が近くにない」などが多く挙げられた。

これに対し、実際に受診した患者の歯科診療施設の選択理由では「かかりつけ歯科であること」「通院の利便性が高いこと」が多く挙げられた。特にかかりつけ歯科の存在は、クロス集計の結果からも歯科受診に非常に大きな影響を与えていることが分かった。また、かかりつけ歯科の選択理由そのものも通院利便性が多くを占めた。

受診した患者は、受診先の歯科診療施設に対する満足度の判断に、治療の質や説明の丁寧さ、対応の迅速さ、患者の希望を重視するか等を挙げているが、概ね満足度の高い評価に集中していた。また、治療時の説明に関しても9割近くの患者が「十分で理解もできた」としており、患者の意識としては歯科診療施設ごとの満足度に大きな差がないことが考えられた。

以上のことから、患者側から見た場合、歯科治療中・治療後の患者の満足度に大きな差はなく、診療内容よりも通院の利便性やかかりつけ歯科の存在の有無が受診率に大きく影響を与えている可能性があることが示唆された。また、かかりつけ歯科を持つ患者の口腔保健に対する意識はかかりつけ歯科を持たない患者の意識よりも高いことが考えられた。しかし、これに対して前述のとおり定期健診の連絡など、歯科側から患者側への口腔の健康を保つ上でも重要な、定期的なアプローチが十分ではないことが考えられ、歯科受診率の向上を図るためには歯科側の改善すべき点も多いことが考えられた。今後は本研究のデータをもとに felt need から expressed need へ移行する要因に

ついて、より詳細な分析を行い、歯科医療の需要に関わる要因の調査分析をさらに深く掘り下げていく予定である。

参考文献

- 1) Bradshaw J. The concept of social needs. *New Society*, 30, March 1972.
- 2) 筒井昭仁、安藤雄一：ウェブ調査 (Web-based survey) によるフッ化物応用に関するリスク認知. *口腔衛生会誌*、60 巻 2 号、2010

F. 研究発表

未発表

G. 知的財産の出願・登録状況

なし

資料1 調査対象者の属性

1. 性別・年齢構成

CELL	割付セル 単一回答	N	%
	1男性/20-29才	73	10.0
	2男性/30-39才	73	10.0
	3男性/40-49才	73	10.0
	4男性/50-59才	73	10.0
	5男性/60才	73	10.0
	6女性/20-29才	73	10.0
	7女性/30-39才	73	10.0
	8女性/40-49才	73	10.0
	9女性/50-59才	73	10.0
	10女性/60才	73	10.0
	全体	730	100.0

2. 居住地域

AREA	地域 単一回答	N	%
	1北海道	33	4.5
	2東北地方	36	4.9
	3関東地方	296	40.5
	4中部地方	132	18.1
	5近畿地方	133	18.2
	6中国地方	23	3.2
	7四国地方	19	2.6
	8九州地方	58	7.9
	全体	730	100.0

3. 職業

JOB	職業 単一回答	N	%
	1公務員	22	3.0
	2経営者・役員	10	1.4
	3会社員(事務系)	90	12.3
	4会社員(技術系)	87	11.9
	5会社員(その他)	72	9.9
	6自営業	61	8.4
	7自由業	23	3.2
	8専業主婦	170	23.3
	9パート・アルバイト	76	10.4
	10学生	37	5.1
	11その他	82	11.2
	全体	730	100.0

(別紙1)

01 あなたは、この1年間に歯や口の中について悩みや気になることがありましたか。
それぞれの症状の強さを5段階で選んでください。5が最も症状が強く、1が最も弱い症状とします。

また、それによって夜眠れない、仕事に集中できないなど、
日常生活に支障をきたしたことがあれば具体的に記載してください。

※「ない」とお答えになった項目については自由回答欄に「ない」とご記入してください。

【その他の悩み事以外必須】

	症状の強さ					
	5	4	3	2	1	ない
1. 歯が痛んだり、しみたりした						
支障をきたしたこと:	→ <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>					
2. 歯がぐらついた						
支障をきたしたこと:	→ <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>					
3. 歯ぐきから血が出たり、はれたりした						
支障をきたしたこと:	→ <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>					
4. 口臭があった						
支障をきたしたこと:	→ <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>					
5. 粘るような不快感があった						
支障をきたしたこと:	→ <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>					
6. 歯ならびが気になった						
支障をきたしたこと:	→ <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>					
7. かみあわせがよくなかった						
支障をきたしたこと:	→ <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>					
8. 口をあけるとゴロゴロ音がした						
支障をきたしたこと:	→ <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>					

9. 歯がない状態だった

支障をきたしたこと:

10. 入れ歯が合わなかった

支障をきたしたこと:

11. その他の悩み事

具体的な内容/支障をきたしたこと:

✂ ここまで改ページ

02 あなたは、この1年間に歯科診療所や病院の歯科で診療(訪問診療、検診等を含む)を受けたことがありますか。
当てはまるものにチェックを入れてください。(ひとつだけ)

【必須入力】

- 1. 受けたことがある(現在治療中ではない)
- 2. 治療中
- 3. 受けなかった

✂ ここまで改ページ

03 その歯科診療所(病院の歯科)の郵便番号を記載してください。
※受けたことがある(現在治療中ではない)場合は、直近で診療(訪問診療、検診等を含む)を受けた病院について、
治療中の場合は主な病院についてお答えください。
※お手数ですが、歯科診療所の郵便番号が分からない方は、ホームページ等でお調べの上、ご記入ください。

【全て必須】

歯科診療所(病院の歯科)の郵便番号 〒 - (半角数字)

✂ ここまで改ページ

014 診療内容は何ですか。当てはまる主なものにチェックを入れてください。(ひとつだけ)

※受けたことがある(現在治療中ではない)場合は、直近で診療(訪問診療、検診等を含む)を受けた病院について、
治療中の場合は主な病院についてお答えください。

【 必須入力 】

- 1. ムシ歯の治療(詰め物、冠をかぶせる等)
- 2. 歯周疾患(歯肉炎・歯周病等)の治療
- 3. 抜けた歯の治療(入れ歯・ブリッジの作製・修理)
- 4. 歯ならびやかみあわせの治療
- 5. 検診・指導(定期的なものを含む)
- 6. 事故などによる損傷の治療
- 7. その他 具体的に:

✂ ここまで改ページ

015 どのような理由で歯科診療所や病院の歯科を選びましたか。当てはまるものにチェックを入れてください。(いくつでも)

※受けたことがある(現在治療中ではない)場合は、直近で診療(訪問診療、検診等を含む)を受けた病院について、
治療中の場合は主な病院についてお答えください。

【 必須入力 】

- 1. かかりつけだから
- 2. 自宅から通うのに便利だから
- 3. 勤め先や学校から通うのに便利だから
- 4. 評判がいいから
- 5. 予約時間どおりに診てくれるから

- 6. 治療内容や費用についてよく説明してくれるから
- 7. 夜間や休日も治療してくれるから
- 8. 訪問診療してくれるから
- 9. 人から紹介されたから
- 10. その他 具体的に:

✂ ここまで改ページ

016 歯科医師からの説明は十分でしたか。説明の内容は理解できましたか。

当てはまる主なものにチェックを入れてください。(ひとつだけ)

※受けたことがある(現在治療中ではない)場合は、直近で診療(訪問診療、検診等を含む)を受けた病院について、
治療中の場合は主な病院についてお答えください。

【 必須入力 】

- 1. 説明は十分で理解もできた
- 2. 説明は十分だが理解はできなかった
- 3. 説明は不十分だが理解はできた
- 4. 説明は不十分で理解もできなかった
- 5. その他 具体的に:

✂ ここまで改ページ

017 その歯科診療所(病院の歯科)に満足しましたか。

満足が「10」、不満足が「1」として、10段階評価で当てはまるものにチェックを入れてください。

(ひとつだけ)

※受けたことがある(現在治療中ではない)場合は、直近で診療(訪問診療、検診等を含む)を受けた病院について、
治療中の場合は主な病院についてお答えください。

【 必須入力 】

10 9 8 7 6 5 4 3 2 1

08 上記で選択をした、理由を書いてください。

【 必須入力 】

Text input field with a scroll bar.

※500 文字以内でご記入ください。



ここで改ページ

09 必要な治療がすべて終了したときに、次の定期健診にいつごろ来るよう言われましたか。

当てはまる主なものにチェックを入れてください。(ひとつだけ)

※受けたことがある(現在治療中ではない)場合は、直近で診療(訪問診療、検診等を含む)を受けた病院について、

治療中の場合は主な病院についてお答えください。

【 必須入力 】

- 1. 2ヶ月以内
- 2. 3~4ヶ月
- 3. 5~7ヶ月
- 4. 8~12ヶ月
- 5. その他 具体的に:
- 6. 定期健診に来るよう言われなかった
- 7. 治療が終了したことがない(まだ終了していない)



ここで改ページ

010 定期健診の時期に歯科診療所(病院の歯科)から、事前連絡はありましたか。

連絡があった方はその方法をお選びください。

当てはまる主なものにチェックを入れてください。(ひとつだけ)

※受けたことがある(現在治療中ではない)場合は、直近で診療(訪問診療、検診等を含む)を受けた病院について、

治療中の場合は主な病院についてお答えください。

【 必須入力 】

- 1. 郵便物(ハガキ・手紙など)
- 2. 電話
- 3. その他 具体的に:
- 4. 特に連絡はなかった



ここで改ページ

011 歯科診療所(病院の歯科)を受診する必要性は感じましたか。

当てはまるものにチェックを入れてください。(ひとつだけ)

【 必須入力 】

- 1. 受診する必要性は感じた
- 2. 受診する必要性は感じなかった



ここで改ページ

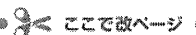
012 受診しなかった理由は何ですか。

(時間的な問題や経済的な問題、歯科に対するイメージや過去の体験等)具体的に記載してください。

【 必須入力 】

Text input field with a scroll bar.

※500 文字以内でご記入ください。



ここで改ページ

013 あなたは、歯の治療の途中で治療を止めたり、転医をしたことがありますか。
ある方はその理由として、当てはまるものにチェックを入れてください。(いくつでも)
【 必須入力 】

- 1. 痛みなどの症状がおさまったから
- 2. 予約していても待たされるから
- 3. 通うのに不便だから
- 4. 治療費がかかるから
- 5. 治療内容に不満があるから
- 6. 十分な説明が受けられないから
- 7. 歯科医師から他の歯科診療所や病院の歯科を紹介されたから
- 8. その他 具体的に: _____
- 9. 歯の治療の途中で治療を止めたり、転医をしたことはない
- 10. これまで歯科診療所や病院の歯科で診療を受けたことはない

✂ ここを改ページ

014 あなたは、ふだん歯や歯ぐきの健康についてどのようなことに注意していますか。
当てはまるものにチェックを入れてください。(いくつでも)
【 必須入力 】

- 1. 歯科検診や歯科健康診査を受けるようにしている
- 2. 歯石を取ってもらうようにしている
- 3. 食事の後、歯をみがいたり口をすすぐようにしている
- 4. 歯周病にならないように、根もとまでみがくようにしている
- 5. 甘いものを、食べたり飲んだりしないようにしている
- 6. バランスのとれた食事を心がけている

- 7. よくかんで食べるようにしている
- 8. 歯や歯ぐきの健康を特に意識して喫煙をしないようにしている
- 9. その他 具体的に: _____
- 10. 注意していない

✂ ここを改ページ

015 かかりつけの歯科医院はありますか。当てはまるものにチェックを入れてください。(ひとつだけ)
【 必須入力 】

- 1. はい
- 2. いいえ

✂ ここを改ページ

016 かかりつけの歯科医院について、どんなときに受診しますか。
当てはまる主なものにチェックを入れてください。(ひとつだけ)
【 必須入力 】

- 1. 定期的に
- 2. 気になるとき早めに
- 3. 症状が出たとき
- 4. その他 具体的に: _____

✂ ここを改ページ

017 かかりつけ歯科の場所で当てはまるものにチェックを入れてください。(ひとつだけ)
【 必須入力 】

- 1. 家の近く
- 2. 職場の近く

3. その他

ここで改ページ

Q18 かかりつけ歯科までの主な通院手段で当てはまるものにチェックを入れ、通院時間も記載してください。(ひとつだけ)

※通院手段は主な手段をお答えください。

※通院時間は、主な手段に限らず、トータルの時間でお答えください。

【必須入力】

1. 電車 通院時間: 約 分(半角数字)

2. バス 通院時間: 約 分(半角数字)

3. 車(バイク) 通院時間: 約 分(半角数字)

4. 徒歩 通院時間: 約 分(半角数字)

5. 自転車 通院時間: 約 分(半角数字)

6. その他 通院時間: 約 分(半角数字)

ここで改ページ

Q19 あなたは、もしご自分が寝たきり等の状態で在宅介護を受けるようになったとしたら、どのような歯科のサービスを望みますか。

当てはまるものにチェックを入れてください。(いくつでも)

【必須入力】

1. 必要なとき在宅で歯科の治療が受けられるようにしてほしい

2. 定期的に在宅で歯科の検診が受けられるようにしてほしい

3. 定期的に在宅で歯科医師等が口の中の手入れや指導をしてほしい

歯科診療所や病院の歯科を容易に受診できるようにスロープの設置や、移送サービスの実施等を

4. してほしい

5. 要介護者の歯の治療や手入れに関する相談窓口を設置してほしい

6. その他 具体的に:

7. 特になし

ここで改ページ

Q20 あなたは、歯科医療についてどのようなことを望みますか。

当てはまるものにチェックを入れて(いくつでも)、具体的な意見を記載してください。

【必須入力】

歯科診療所や病院の歯科が近くにほしい

1. 具体的に:

夜間や休日でも治療が受けられるようにしてほしい

2. 具体的に:

職場での健康診断に歯科も含めてほしい

3. 具体的に:

なるべく待たせないようにしてほしい

4. 具体的に:

診療回数をへらしてほしい

5. 具体的に:

診療内容や費用等について分かりやすく説明してほしい

6. 具体的に:

保険の範囲をひろげてほしい

7. 具体的に:

その他

8. 具体的に:

9. 特になし